

<b>リスクアセスメント報告書</b>			No. 1	社	管理責任者
リスクアセスメント対象		実施年月日	作成者（安全推進室長）	長	
全社標準		平成29年5月16日	松沢増美 印		

No.	危険要因の洗い出し			リスク見積り(現状)		リスク評価(現状)	リスク低減対策	対策後のリスク見積り(予測)		改善に当たり考慮すべき事項	優先順位	
	作業名	災害に至るプロセス		可能性	重大性	リスクレベル		可能性	重大性			
		～するとき	～したので									～(事故の型)になる
1	バックホウによる掘削・積み込み・埋め戻し	バケットで土砂を掬い上げ	旋回したとき土砂が落下し	近くの作業員に当たる	△	×	4	機械の作業半径内、立入禁止措置。	○	○	1	併せて誘導者を置く
2	〃	仮設道路を開設するためバックホウで掘削	掘削土の上に乗リバランスを崩し	転落し運転手が挟まれる	△	×	4	重機の足下を常に整地しながら作業する	○	△	2	
3	土砂運搬	ダンプトラックが後進	運転手の死角に作業員がいた	轢かれる	△	×	4	誘導者の指示に従う。	○	○	1	合図を統一する
4	〃	土砂を運搬するとき	ダンプトラックに過積載をした	制動距離が延び、一般車に追突した	△	×	4	ダンプのアオリ高さ以下に積載する。	○	○	1	
5	機械掘削	重機を工事用道路上で移動	誘導員の配置を怠り	重機が路肩より転落し運転手が挟まれる	△	×	4	路肩を明示し誘導員を配置する	○	△	2	合図を統一する
6	車輛系建設機械始業前点検	点検作業中	機械が不意に動き出し	巻き込まれ轢かれる	○	×	3	輪止めの設置、サイドブレーキを利かせる。	○	○	1	
7	転圧作業	タイヤローラーで転圧作業中	運転手の死角に作業員がいた	轢かれる	△	×	4	作業区域立入禁止措置。	○	○	1	
8	アスファルト舗装工	フィニッシャーのホッパーを清掃する時	機械を停止していなかった	巻き込まれる	○	×	3	エンジンを停止しキーを抜く。	○	○	1	
9	〃	人力で敷均しをする時	車道へ出てしまい	一般車と接触する	△	×	4	誘導者の配置	△	○	2	合図を統一する
10	〃	表層舗設作業中	合材が身体に触れて	火傷をする	△	△	3	手袋、安全靴等の保護具の完全着用	○	○	1	
11	法面整形	人力により整形中	浮き石を落とし	下方の作業員に当たる	△	△	3	上下作業とならないよう並行作業をする	○	○	1	
12	法枠吹き付け工	モルタル吹き付け	モルタルが飛び散り	目に入る	×	△	4	ゴーグル等の保護具を着用する	○	○	1	
13	法面作業	法面で移動中	バランスを崩し	転落する	△	×	4	常時、親綱とライフラインで確実に身体を確保する。	○	○	1	
14	コンクリートブロック製作	コンクリート打設のホッパーをクレーンで吊り	型枠の上部付近に下ろしたところ	作業員とホッパーが接触した	△	△	3	誘導者を配置する	○	○	1	合図を統一する

※ リスクの評価基準

災害の可能性

(可能性ランク)	(記号)
かなり起こる	×
たまに起こる	△
殆ど起こらない	○
【詳細】	
3ヶ月に1回程度	×
6ヶ月に1回程度	△
年に1回程度	○

災害の重大性(けがの大きさ)

(重大性ランク)	(記号)
極めて重大	×
重大	△
軽微	○
【詳細】	
休業1ヶ月以上・死亡	×
通院・休業1ヶ月未満	△
微傷・軽打撲程度	○

リスクレベル

(リスクの見積もり)	(リスクの評価(判定))	(レベル)
××	極めて大きい(受け入れ不可能)	5
×△、△×	かなり大きい(受け入れ不可能)	4
○×、×○、△△	中程度(受け入れ不可能)	3
○△、△○	かなり小さい(許容可能)	2
○○	極めて小さい(受け入れ可能)	1

リスクへの対応

(レベル)	(リスクへの対応)
5	受け入れ不可能なリスクであり、即座に他の方法へ回避する必要がある
4	受け入れ不可能なリスクであり、抜本的な対策を実施する必要がある
3	受け入れ不可能なリスクであり、何らかの対策を実施する必要がある
2	許容可能なリスクであり、現時点では特に対策の必要がない(残留リスクあり)
1	受け入れ可能なリスクであり、対策の必要がない(残留リスクあり)